

このまちが好き

夢かなうまち

福生

福生の教育

—発行 編集—
福生市教育委員会
事務局 庶務課

〒197-8501
福生市本町5番地
042-551-1511

主な記事 ○青少年海外派遣生が決定 ○学校支援地域組織が始動 ○伝統文化ものづくり体験・多摩川製鉄体験塾

東日本大震災 被災地の小学校を支援

宮城県に派遣の我妻先生からのメッセージ



5月9日より、東京都派遣教員として宮城県に来て1カ月が経とうとしています。今回、東日本大震災があり、「自分を抱き続けるか」という思いを抱き続けていたところに今回の話がありました。今まで受けていた福生第一小学校の児童のことを考えると非常に辛い決断ではありませんが、生まれ育った宮城県に恩返しをするために、今自分ができることを精一杯やろうと決めて宮城県に行く決意をしました。

宮城県での学校は、宮城県柴田郡大河原町立大河原小学校という所に勤務しています。沿岸部ではなく、どちらかというと内陸部ですので、建物にはあまり影響はなかったようです。しかし、被災地からの転入生が増えたこと、震災による心のケアが必要な児童がいます。

大河原小学校は、全校児童が約1000人という大きな学校ですので、活気がある学校です。その活力を生かし、震災から立ち直ろうとみんな力を合わせて頑張っている様子が肌で感じ取れます。一つ一つの行事に対しても、熱心に取り組んでいますので、とても盛り上がり私を送り出してくれました。福生第一小学校の5年生と6年生が作ってくれた千羽鶴を大河原小学校に届けてくれました。全校児童の前で紹介してもらい、児童の皆さんも感謝の気持ちで受け取ってくれました。私は6年生の社会と算数を教えています。子どもたちはとても素直ですし、先生方も親切ですので、今は逆に助けてもらっているという状態です。こちらでも、人の温

宮城県大河原町立大河原小学校6年生のみなさん元気に大運動会を行いました



かさというものに触れることができているか、まだ1カ月ですが、大河原がとても良い所だということを実感して好きになりました。早く、大河原小学校に慣れて、少しでも多く貢献したいという気持ちが強いです。

先日、休みの日に震災で大きな被害を受けた亘理町というところに行つて来ました。ニュースや新聞では見えていたが、実際に見ると改めて今回の震災の恐ろしさを感じました。瓦礫の山や田んぼに横たわった船や車を見て、ただ茫然とするしかありませんでした。被害の少なかつた地域では、少しずつ元の暮らしに戻りつつありますが、沿岸部の地域を見ると、これからまだまだやらなくてはいけなことが沢山あるなど感じました。いつ思い出しても、とても辛く涙が出る思いです。時間を見つけて、大河原小学校だけではなく、他の地域に対しても何かしたいなと思っています。福生市の皆さんもぜひ、継続的な被災地への支援をお願いします。宮城県のみならず、復興に向けて本当に頑張っています。



派遣に先立ち福生市長を訪問した我妻先生
左から長谷川貞夫教育委員長、加藤育男福生市長、我妻裕太教諭、西山多恵子福生第一小学校長

平成23年6月6日
宮城県柴田郡大河原町立大河原小学校 我妻 裕太

福生第五小学校が環境大臣賞を受賞しました



愛鳥宣言

2011年3月11日、日本は東北地方太平洋沖地震に見舞われました。多くの人々が地震や津波の被害に遭い、わたしたちも自然の怖さを思い知らされました。自然は、人間の力ではどうすることもできない大きな力をもっています。一方で自然は、わたしたちにたくさんの恵みや豊かさをもたらしてくれています。

福生第五小学校は、西に御嶽（みたけ）や大嶽（おおたけ）を望み、近くには多摩川が流れる、自然豊かなところにあります。学校から歩いて数分の川辺では、アオサギ、カワセミ、キセキレイなどの観察ができます。校庭の巣箱には、シジュウカラやムクドリが毎日遊びに来ています。

福生五小は、いつも近くに鳥のいる、鳥と仲の良い学校です。わたしたちはこれからも、伝統ある愛鳥校のバトンをつないでいきます。野鳥を愛し、野鳥が住む自然を大切に守り続けます。



受賞した福生第五小学校の児童たち

福生第五小学校は、開校3年目の昭和47年から、「東京都愛鳥モデル校」に指定され、約40年にわたって愛鳥活動を進めてきました。この活動が認められ、5月15日に開催された第65回愛鳥週間「全国野鳥保護のつどい」において、環境省による野生生物保護功労者表彰の環境大臣表彰を受賞しました。

「全国野鳥保護のつどい」では、福生第五小学校の代表児童が、全校児童での多摩川の河原でのバードウォッチングと多摩川の河原清掃や、巣箱かけと営巣調査など、日頃の愛鳥活動の様子を報告しました。

最後に、福生第五小学校の児童が考えた「愛鳥宣言」を高らかに披露し、会場から大きな拍手をいただきました。



第二期福生市生涯学習推進計画の概要について

平成23年3月に策定した「第二期福生市生涯学習推進計画」では「希望に満ちた明るいひとづくり」を推進目標とし、目標を具体化していくための5つの方向性を示しています。

生涯学習推進の方向性

- ①地域の教育力の向上
学校、家庭、地域が持つ教育力の向上を図り、地域社会が一体となって地域の教育課題に取り組む仕組みづくりと「生きる力」を社会全体で育む環境づくりを推進する。
- ②学習支援体制の整備・ネットワークの構築
市民全体の学習活動に対する支援やネットワークの構築など学習支援体制の充実を図る。
- ③学習情報の提供と相談活動の充実
広報紙やホームページをはじめ、様々な媒体を利用した学習情報の提供と相談機能の充実を図る。
- ④人材の育成・確保
地域における生涯学習活動の指導者・リーダーの育成、また、その人材が地域の学習活動と連携できる仕組み作りを検討する。
- ⑤学習成果の活用と評価
学習の成果を生かすことのできる機会の拡充に努める。これらの方向性を進めてい



福生市の代表として青少年海外派遣生が決定!

7月22日(金)から8月4日(木)までの14日間
アメリカ合衆国ワシントン州シアトル市へ

市では、将来、国際的な視野に立って活躍できる人材の育成を図ることを目的として、毎年夏休み期間中に、「青少年海外派遣事業」として、市内在住の中学生を海外に派遣しています。

今年も14日間の行程で、アメリカ合衆国(ワシントン州シアトル市)に向けて12人の派遣生が7月22日(金)に出発します。

現地では、ホームステイをしながら、大学での英語研修、青少年団体や日系老人ホームとの交流を通じて、お互いの国の歴史・伝統文化を紹介し、相互理解を深めます。

派遣生たちは、事前研修として、5月下旬から毎週日曜日に英会話研修・歴史学習や現地で披露する踊りの練習をしてきました。

「福生市代表の派遣生」という自覚を持って、全員頑張って行ってきます。



◎派遣生の皆さん(五十音順・敬称略)

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| 梅林 聖 (福生第一中学校・2年) | 勝又 遥 (福生第一中学校・2年) |
| 神崎 琴美 (啓明学園中学校・2年) | 澤井 玲奈 (福生第二中学校・2年) |
| 塩野祐美子 (福生第三中学校・2年) | 篠塚 萌実 (福生第二中学校・2年) |
| 鈴木結実 (福生第一中学校・2年) | 長崎 伶美 (福生第三中学校・2年) |
| 原島 崇甫 (福生第二中学校・2年) | 溝呂木匠太 (福生第三中学校・2年) |
| 南島かりん (浦和明の星女子中学校・3年) | 渡辺 彩花 (福生第一中学校・2年) |

問合せ 生涯学習推進課 地域教育支援係 ☎ 551・1958

福生市の特別支援教育④

特別支援教育の充実に向けた取組

今回は、福生市の特別支援教育の充実に向けた取組をご紹介します。

「福生市特別支援教育推進計画」に基づいた取組

平成16年11月に策定された「東京都特別支援教育推進計画」の考え方に基づき、平成21年3月に「福生市特別支援教育推進計画」を策定し、障害のある児童・生徒への教育的支援の改善を進めてまいりました。

○特別支援教育コーディネーターについて
各学校で特別支援教育コ

ディネーターを指名し、校内委員会を中心に、児童・生徒の教育的ニーズに応じた指導を行っています。また、必要に応じて、学校外の組織との連携窓口役を務めています。

○適切な就学について

就学相談担当の教育相談員が、市内の幼稚園・保育園を訪問し、就学相談について広報します。そして、幼稚園・保育園からの働きかけや、就学の不安をお持ちの保護者からの申込みを受け、就学支援委員会を開催し、お子さんの適切な就学先を決定します。

○特別支援学級について

福生市には、小学校2校、中学校1校の知的障害・固定学級が設置されており、身辺自立を中心とした基本的な生活習慣、将来の生活に必要な知

識や技能、習慣の定着を目指した学習活動を展開しています。また、小学校3校、中学校1校に情緒障害・通級指導学級が設置されており、通級する児童・生徒に対して効果的な学習を行い、様々な力身に付けることができます。

○その他の取組について

平成21年度開設の福生市子ども応援館内に、教育相談室と学校適応支援室(そよかせ教室)を設け、特別な教育的支援にかかわる相談についても対応しています。また、各学校に小学校授業指導補助員や中学校適応指導補助員を配置し、授業や個別の学習等の支援を行っています。さらに、スクールソーシャルワーカーが、児童・生徒や保護者の相談に乗り、支援で

きる組織につながっています。

【今後の取組について】

今年度、これまでの特別支援教育の見直し等を行った上で、「東京都特別支援教育推進計画(第三次計画)」を踏まえた平成24年度からの「福生市特別支援教育推進計画第二次計画」を策定し、改めて今後の取組を充実させていきます。これまで以上に、児童・生徒一人一人のニーズに応じて適切な指導と必要な支援を行うため、関係者及び関係機関の一層の連携が求められています。個別の教育支援計画の作成とその活用や、地域支援の取組など、関係者のつながりを大切にした特別支援教育の充実に取り組んでいきます。

問合せ 指導室 学務指導係 ☎ 551・1948

第二次福生市子ども読書活動推進計画の概要について

「子どもの成長をはぐくむ」本のある暮らし

平成23年度(27年度)までの子どもの読書活動の推進と読書環境を整備するため、第二次福生市子ども読書活動推進計画「子どもの成長をはぐくむ」本のある暮らしを策定しました。

策定にあたり、市内にある保育所・幼稚園・児童館・小学校・高校へ読書活動アンケートを実施し、現状把握に努め、今後の課題を位置づけました。

家庭・地域・学校・図書館等が連携を取りながら、福生市のすべての子どもたちにとって、様々な場所でもと出会

い、その楽しさや喜びを見つけ、豊かな心をはぐくむきっかけになるよう事業を進めていきます。

具体的には、新規事業の子ども家庭支援センターへの出前おはなし会(奇数月第4木曜日実施)をはじめ、保健センター、福生病院(小児病棟)での団体貸出・出前おはなし会や学校図書館支援サービなど52の事業に取り組んでいきます。

【主要課題】

- ①保護者に読書の大切さを広く知らせていく
- ②地域や学校等子どもが居る

場所に本を置き、本との出会いの機会を増やす
③本を子どもたちに紹介したり、読み聞かせをする人材を育てる

問合せ 中央図書館 ☎ 553・3111



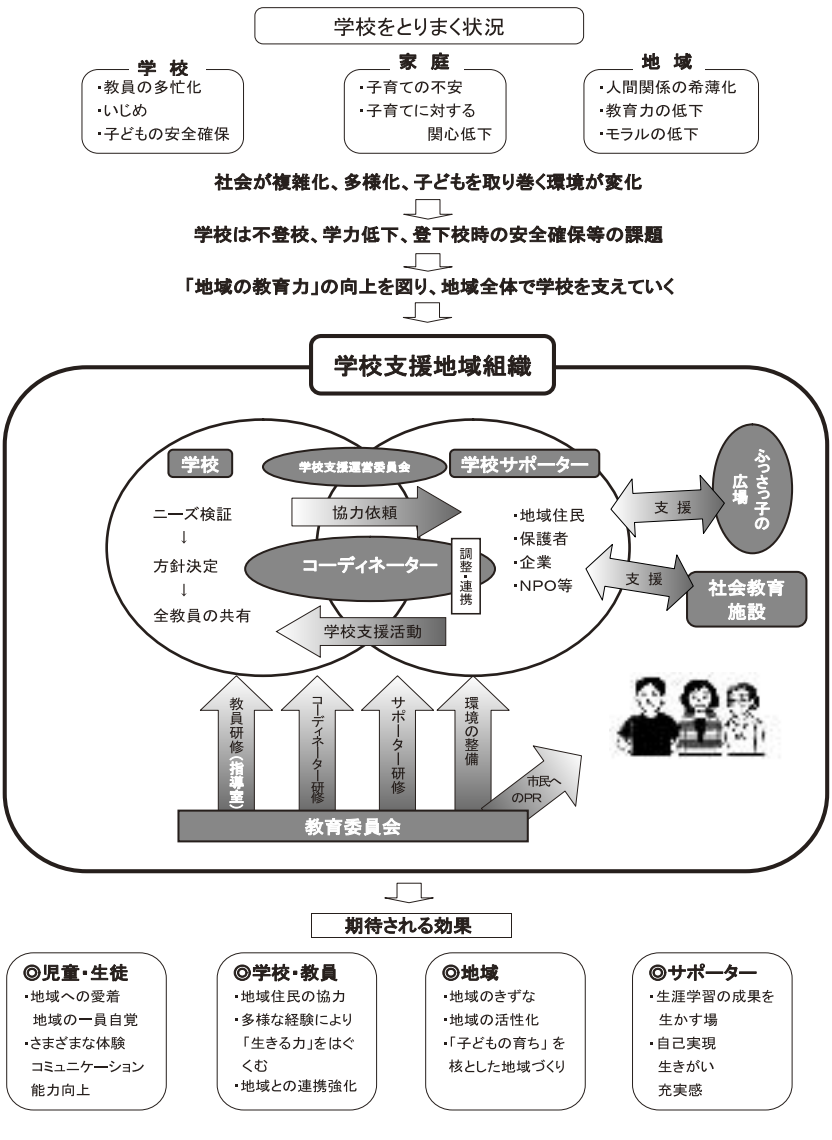
おはなし会の様子

学校支援地域組織が始動！！

子どもや学校をとりまく環境が変化中、学校では不登校、問題行動への対応、基礎学力の定着、登下校の安全確保など様々な問題をかかえています。このような中で、子どもたちを健やかに育てていくために、地域全体で学校を支える仕組みを作り、学校が地域住民や保護者から様々な支援を受け、学校教育を行う取組が学校支援地域組織です。

具体的には、各学校に学校サポートコーディネーターを置き、学校のニーズと支援者である地域のボランティアの方々と結びつなげ、普段の授業や学校の活動を手助けしたり、協力していくもので、今年度福生第四小学校でスタートしました。

問合せ 生涯学習推進課 地域教育支援係 ☎551・1958



福生第四小学校の校庭を一部芝生化

福生第四小学校では、昨年度校庭の一部を芝生化しました。

面積は544㎡で、子どもたちが自由に遊べるように強い種類の芝を選びました。

校庭の芝生化とはヒートアイランド対策や砂ぼこりの減少といった環境面の効果だけでなく、子どもたちにとっても遊びの場や体育、理科の学習の場といった幅広い効果が期待できます。子どもたちは、芝生の上で遊んだり、くつろいだり、体育の授業でも活用されています。

芝刈りなどの維持管理についてはPTA、四小ファンクラブ、町会等のみなさんのお力を借り、学校支援地域組織サポートコーディネーターが維持管理組織を立ち上げて行っています。

芝生は生きものです。学校だけでなく地域の憩いの場になるように大切に育てていきます。



問合せ 庶務課 施設係 ☎ 551・1937

地域資料のご利用と寄贈のお願い

図書館では、福生市に関する資料や横田基地、多摩川、玉川上水に関する資料を中心に収集しています。

その一環として、1983年から福生に関わりのあるものを抜粋した、『福生市に関する新聞記事索引』の作成や、1972年7月からの朝日・読売・日経・産経・毎日新聞の多摩版を保存していますので、ご利用ください。

また、地域情報の収集のため、福生市に關係する本のほか、福生市内で配布されているリーフレットやチラシの収集にも力を入れています。福

生市内のお店の紹介やイベントのお知らせなどのチラシ等がありましたら、ぜひ図書館にご寄贈ください。

いただいた資料は主に中央図書館で保存し、利用者の要望に応じて公開しています。

福生市の歴史となる資料の保存にご協力をお願いします。

問合せ 中央図書館 ☎553・3111

福生市スポーツ振興審議会委員が決まる

教育委員会では、福生市におけるスポーツ振興とスポーツを通じた健康増進を効率的、効果的に推進するため、「福

生市スポーツ振興基本計画」を策定することとし、スポーツの振興に係わる事項について調査審議する機関として、福生市スポーツ振興審議会を設置し、各分野から、次の方々を審議会委員として選任いたしました。(敬称略)

池田浩三、成末回天雄

市内健康・保健等の関係者
飯田 忍、小嶋弘子

学識経験者
中島幸則、清水信好
公募による市民
中出雅俊

問合せ スポーツ振興課 ☎552・5511

福生市営プールがオープンしました

●開場期間

7月10日(日)～9月3日(土)
(7月31日(日)は、東京都市町村総合体育大会のため閉場します。)

●開場時間

午前9時から午後6時まで

●市営プール使用料

	1回2時間	超過料金 1時間
大人 (高校生以上)	200円	100円
小人 (中学生以下)	100円	50円
身障者及び 3歳未満	無料	
更衣ロッカー	100円リターン方式	

●市営プール無料使用券の配布について

市内の小・中学生には、学校を通じて無料使用券を配布します。

なお、市外の小・中学校へ通学されている児童・生徒には、中央体育館及び市営プールの窓口で配布しますので、お申し出ください。

●市営プールご利用の際の注意事項

*プールに入水する方は、水着以外ではプールには入れません。(プールサイドでのTシャツ等の着



用はできません。)

*おむつ水着は、その上から水着を着用した上で、幼児用プールのみ利用できます。

*妊娠をしている方は、安全を考慮して入水はご遠慮していただいています。また、付添え入場する際は、プールサイド等大変滑りやすいので十分ご注意ください。

*プールサイドでは、オイル等の使用はできません。また、お化粧品等もよく落としてください。

*市営プール内全てのプールでの飛び込みはできません。

*水泳大会にご参加を★

平成23年度福生市民総合体育大会・水泳大会が9月4日(日)に開催されます。

開場期間中、市営プールをご利用いただき、泳力を高め、水泳大会にぜひ、ご参加ください。

問合せ スポーツ振興課 ☎552・5511

夏休みは公民館に集まれ! さまざまな講座・教室を開催します

公民館では、夏休み期間中に、子どもを対象にした講座・教室を開催します。(松林分館については、7月1日号広報ふっさにて、募集中です。)

【夏休み自然体験教室】

学校や学年のちがう仲間と一緒に、福生周辺や奥多摩の山や川を探検しよう。2泊3日のキャンプでは、食事作りやテント宿泊も体験します。

◆日時 8月18日、19日、23日、24日、25日、26日、27日
(24日～26日はキャンプ)

◆対象 市内在住の小学4年生～6年生 定員先着15人

◆申込み 7月20日(水) 午前9時から受付開始

◆費用 交通費・食材費等自己負担

問合せ 公民館係(さくら会館内) ☎552・2118

【熊川分水たんけん隊】

熊川分水にはどんな生き物がいるのかな。普段は入れない片倉工業跡地部分の熊川分水にザブザブと入って調べてみましょう。

◆申込み 7月20日(水) から電話で受付開始

問合せ 白梅分館 ☎553・3454



山の中を探検!

～公民館「市民文化教室」～

福生市文化協会との共催で、日本の伝統文化、伝統芸能にふれ、理解を深めていただくために初心者を対象に「市民文化教室」を実施します。文化協会の会員の先生方を指導者として迎え、今年度は、日本舞踊、民謡・新舞踊、詩吟、いけばな、民謡、書道、茶道、着付け、社交ダンス等の教室を予定しています。多くの教室は、今秋開催する市民文化祭にその成果を発表できるよう学習します。各種教室の日程等は順次広報ふっさ・市のホームページにてお知らせします。

問合せ 公民館係(さくら会館内) ☎552・2118

◆多摩川製鉄体験塾日程◆

内 容	日 時
第1回「日本刀について学ぼう」 日本刀の歴史や製作の工程などについて学びます。	8月20日(土) 午後3時～5時
第2回「砂鉄を集めよう1」 多摩川の河原で磁石を使い、福生の砂鉄を集めます。	8月27日(土) 午前10時～正午
第3回「砂鉄を集めよう2」 多摩川の河原で磁石を使い、羽村の砂鉄を集めます。	9月3日(土) 午前10時～正午
第4回「たたら炉を作ろう」 煉瓦を組んで、製鉄のためのたたら炉を作ります。	9月17日(土) 午前10時～正午
第5回「製鉄をしよう」 たたら炉で火を起し、砂鉄を入れて鉄を作り出します。	10月1日(土) 午前10時～午後2時
第6回「工房を見学しよう」 日本刀の工房を見学し、皆が集めた砂鉄が日本刀になる工程を学びます。	10月15日(土) 午後1時～5時
第7回「自分のペーパーナイフを作ろう」 小型のたたら炉を使い、自分用のペーパーナイフの材料になる鉄を作ります。	11月5日(土) 午前10時～正午
第8回「完成の瞬間に立ち会おう」 刀の研磨の実演を見学し、日本刀が完成する瞬間に立ち会います。	12月10日(土) 午後1時～3時

平成23年第二回福生市議会定例会において、教育委員に平野裕子氏が議会の同意を得て、教育委員に任命されました。
平野裕子氏は三期目の就任となります。
なお、福生市教育委員会委員の構成は次のとおりです。



福生市教育委員会
委員 平野裕子氏再任

職 名	氏 名 (敬称略)	任 期
委員長	はせかわ さだ お夫 長谷川 貞 夫	自平成20年10月1日 至平成24年9月30日 (委員長任期は、 平成23年9月30日まで)
委員長 職務代理者	ひら の ひろ こ子 平 野 裕 子	自平成23年6月16日 至平成27年6月15日 (委員長職務代理者任期は、 平成24年6月27日まで)
委 員	かとう よし こ子 加 藤 よし 子	自平成21年10月21日 至平成25年10月20日
委 員	わた なべ ひろ ゆき 渡 辺 ひろ ゆき	自平成19年10月3日 至平成23年10月2日
教育長	みや き しん いち 宮 城 しん いち	自平成21年1月4日 至平成25年1月3日

伝統文化ものづくり体験。 多摩川製鉄体験塾

子ども体験塾
福生市及び羽村市共同事業

みんなで集めた多摩川の砂鉄から一振りの日本刀を作り上げます。

日本古来のたたら炉を作って製鉄を行い、刀の鍛錬と研磨についても実演を見学し、一振りの日本刀が完成するまでの全工程を体験します。

◆日程 全8回 ◆費用 無料

◆対象 市内在住の小・中学生(定員15名)及び保護者

◆申込み 7月20日(水) 午前10時から電話でお申込みください。(先着順)
※なお、参加された児童・生徒には、集めた砂鉄からできたペーパーナイフを記念品としてプレゼントします。

問合せ 郷土資料室 ☎530・1120



工房の様子

教育委員会の動き

平成23年第4回福生市教育委員会定例会(4月22日)

議案

◎福生市公立学校道徳副読本採択要項の制定について

◎児童・生徒による音楽のまちづくりコンサート実施要領の制定について

◎平成24年度使用福生市公立中学校教科用図書採択替えについて

◎学校と家庭の連携推進事業について

◎福生市学校給食センター運営審議会委員の任命について

◎福生市図書館協議会委員の任命について

◎福生市図書館協議会委員の任命について

◎福生市図書館協議会委員の任命について

◎福生市図書館協議会委員の任命について

◎福生市図書館協議会委員の任命について

◎福生市図書館協議会委員の任命について

◎福生市図書館協議会委員の任命について

◎福生市図書館協議会委員の任命について

◎福生市図書館協議会委員の任命について

◎福生市図書館協議会委員の任命について

◎福生市図書館協議会委員の任命について

◎福生市図書館協議会委員の任命について

報告事項 2件
平成23年第6回福生市教育委員会定例会(6月28日)

議案

◎福生市教育委員会委員長職務代理者の指定について

◎福生市学校給食センター運営審議会委員の委嘱及び任命について

◎福生市文化財保護審議会委員の委嘱について

◎福生市図書館協議会委員の任命について

◎平成23年度社会教育関係団体に対する補助金の交付に関する諮問について

報告事項 1件

協議事項 1件

教育委員会会議を 傍聴しましょう

教育委員会会議は、原則として誰でも傍聴することができます。

(傍聴規則で定員は20名となっております。)

また、個人情報に関する議案等、内容によっては非公開となる場合もありますので、あらかじめご了承ください。

教育委員会定例会予定

7月22日(金) 午前10時

8月19日(金) 午前10時

9月27日(火) 午前10時

開催場所
市役所第二棟4階

第一委員会室

問合せ 庶務課 庶務係

☎551・1930